

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道2号 <small>たましま かきおか</small> 玉島・笠岡道路（Ⅱ期）		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：岡山県浅口市金光町佐方 <small>おかやまけんあさくちしこんこうちようさがた</small> 至：岡山県笠岡市西大島新田 <small>おかやまけんかさおかしにしおおしましんでん</small>			延長	9.4 km	
事業概要	<p>一般国道2号は、大阪府大阪市北区を起点とし、福岡県北九州市門司区までを結ぶ延長約680kmの主要幹線道路である。</p> <p>玉島・笠岡道路（Ⅱ期）は、岡山県南西部に位置し、岡山県浅口市金光町佐方から笠岡市西大島新田を結ぶ延長9.4kmの地域高規格道路である。</p> <p>事業目的は、岡山県西部地域の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、周辺地域の連携強化。</p>					
H20年度事業化	H12年度都市計画決定	H24年度用地着手	H24年度工事着手			
全体事業費	約575億円	事業進捗率	43%	供用済延長	0.0 km	
計画交通量	36,300 ~ 43,600 台/日					
費用対効果分析結果	B/C (3便益) 事業全体 3.6 残事業 7.3	総費用 事業費：225/514 億円 維持管理費：62/62 億円	総便益 2,092 / 2,092 億円 走行時間短縮便益：1,776/1,776 億円 走行費用減少便益：241/241 億円 交通事故減少便益：75/75 億円	基準年 令和3年		
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量：B/C=3.2~4.3(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=6.5~8.6(交通量±10%) 事業費：B/C=3.5~3.8(事業費±10%) 事業費：B/C=6.8~7.9(事業費±10%) 事業期間：B/C=3.4~3.9(事業期間±20%) 事業期間：B/C=6.8~7.8(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損失時間の削減が期待される。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・国道2号を利用するバスの利便性向上が期待される。 ・笠岡市から岡山空港（第三種空港）へのアクセスが向上が期待される。 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠岡市から水島港（国際拠点港湾、国際バルク戦略港湾）へのアクセスが向上が期待される。 ・農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が期待される。 <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部として位置づけられている。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる（里庄町～倉敷市） <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する（浅口市工業団地造成整備事業）。 ・主要な観光地へのアクセス向上が期待される。【倉敷美観地区の入り込み客数（R1）：3,283千人/年】 <p>⑤安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺ネットワークとの一体的な整備による第三次救急医療機関（川崎医大付属病院）へのアクセス向上が期待される。 <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陽自動車道、国道2号が岡山県地域防災計画における第1次緊急輸送道路として位置づけあり。 ・第1次緊急輸送路の代替路としての機能が期待される。 <p>⑦地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の減少が期待される。 <p>⑧生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NOX排出量の減少が期待される。 ・SPM排出量の減少が期待される。 					

⑨他のプロジェクトとの関係

- ・ 関連する大規模道路事業（笠岡バイパス）と一体的に整備する必要がある。
- ・ 「第2次浅口市総合計画（H29.3）」において広域・地域間交流を担う道路網として位置づけられている。
- ・ 「第7次笠岡市総合計画後期基本計画（H30.4）」において、企業誘致の推進と雇用促進、地域道路ネットワークを形成する道路として位置づけられている。

関係する地方公共団体等の意見

事業を継続する対応方針（原案）は妥当である。
 本路線は、広島県東部と岡山県西部を連絡する地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する。国道2号の渋滞緩和は、物流の効率化や生産性の向上、さらには新たな企業立地に直結するため、非常に重要である。
 県西部地域では、令和2年3月の倉敷立体の完成により、渋滞が大きく緩和したところであり、平成27年3月に供用した玉島・笠岡道路（I期）の整備効果を最大限発揮させるためにも、本区間の早期供用が重要である。
 開通見通しを公表している令和7年度に向けて、県としてもアクセス道路の整備に全力で取り組んでいるところであり、玉島・笠岡道路の整備をより一層加速化し、笠岡バイパスとの同時供用を強く望む。

事業評価監視委員会の意見

- ・ 事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。
- ・ 審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

周辺開発の増進に伴い、慢性的な渋滞や交通事故が多発している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和3年3月末時点で、事業全体の進捗率は43%、用地の進捗率は100%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、調査設計、用地買収、工事推進を行っており、令和7年度供用を目指し事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

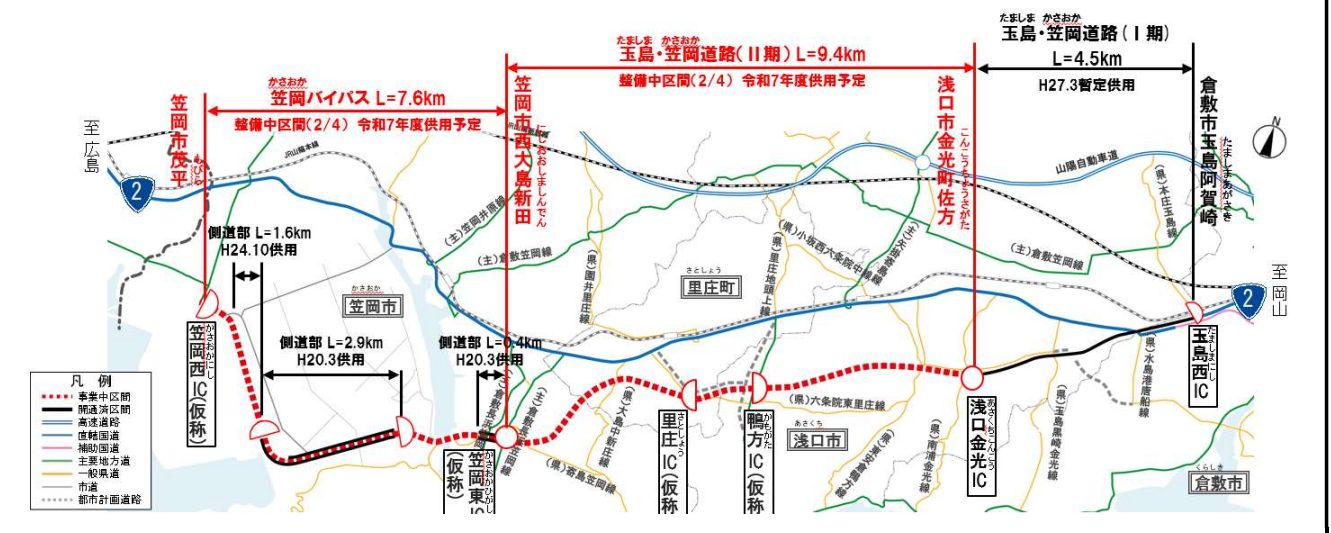
技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。